

NEWS RELEASE

土屋ホーム「令和7年度職業能力開発関係厚生労働大臣表彰」を受賞 認定職業訓練や技能検定実施 技能者育成に貢献

株式会社土屋ホーム(以下、土屋ホーム)の企業内認定大工職人養成学校「土屋アーキテクチュアカレッジ」は、厚生労働省が主催する「令和7年度職業能力開発関係厚生労働大臣表彰」を受賞しました。本表彰は、認定職業訓練関係事業所として技能検定の普及促進に長年にわたり取り組んできた点が評価されたものです。先日、東京都内にて表彰式が開催され、賞状と記念品が授与されました。

「職業能力開発関係厚生労働大臣表彰」は、認定職業訓練や技能検定の実施、技能振興の推進に関して、長年にわたって多大な貢献があり、他の模範になる事業所・団体や、顕著な功績があった功労者を表彰する制度です。



11月18日表彰式にて

土屋ホーム 取締役 山川浩司のコメント

「私たちは、家づくりにおいて一番大切にしていることは、お客様の信頼・安心をいただけることです。そのために企業内に認定大工職人養成学校を運営し、物づくりの前に人づくりをすることを徹底することで、より良い商品、最高の技術をお届けすることができると信じております。これからも、技能検定の普及促進に尽力し、優秀な技能者が活躍できる社会を通じて次の世代に承継していけるよう貢献してまいります。」

土屋アーキテクチュアカレッジとは

土屋ホームでは、企業内認定大工職人養成学校として1991年に「土屋アーキテクチュアカレッジ」を開校。本校では高校卒業者を対象に、まず社員として採用。入社後1年間は訓練生として給与を支給されながら建築科の2級技能士を目指していただきます。訓練終了後はプロフェッショナルとして家づくりの第一線へ。土屋グループの一員として大いに活躍していただきます。

開校の理由

土屋アーキテクチュアカレッジは、創立者・故 土屋公三が「いずれ大工職人が不足する時代が来る」と考え、35年前に開校しました。開校当初から、職人である前に一人の人間として「心・技・体」を身につけることを重視し、高校卒業者を対象に正社員として採用する独自の制度を導入してきました。私たちが最も大切にしているのは、正しい仕事を支える「心の姿勢」です。「心で感じ、頭で考え、体で覚える」という創設時からの教えを軸に、お客様の笑顔を実現するため「自分の家を建てるつもりで仕事に向き合う」ことを教育の根幹としています。

全寮制について

入校後一年間は全寮制です。一日の始まりは朝6時30分の自己啓発から。午前中は主に座学、午後は実習となり6～10月は現場研修。夕食後の時間は生徒同士の研鑽に使い、大工道具の手入れや現場での作業内容を話し合い意識の向上につなげる。

資格取得について

2級技能士・1級技能士試験の前には、社内での集中訓練を実施しています。訓練校を卒業した翌年度には2級技能士を受験し、2級取得者は3年後に1級技能士への挑戦を目指します。現在、1級技能士は50名を超え、多くの技能士が訓練校の指導員を志望しており、すでに40名以上の指導員が在籍しています。

社会貢献

北海道職業能力開発協会より、技能士検定員の派遣を毎年受けておりお手伝いをさせていただいております。また、地域の小学校の課外授業として実技演習を通じて子供たちに体験してもらい、大工に興味を持ってもらうための活動をしております。

正しい仕事と匠の技の継承

土屋アーキテクチュアカレッジでは、靴を揃える・返事をするという基本の所作から「礼儀・礼節」を徹底し、人としての姿勢を育てています。正しい仕事は小さな行動の積み重ねから生まれ、それが匠の技と信頼につながる。私たちは人づくりを通して、最高の技術と安心を社会へ届けていきます。

■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社土屋ホーム 管理本部 担当：土屋 TEL.011-717-3333

■ 土屋アーキテクチュアカレッジ

〒061-1274 北広島市大曲工業団地5丁目1-3 TEL.011-377-7333

<https://www.tsuchihome.jp/special/tsuchihome/college/>